



香月泰男は
明治44年(一九一一年)
10月25日
大津郡三隅村
(現在の三隅町久原)
に生まれました



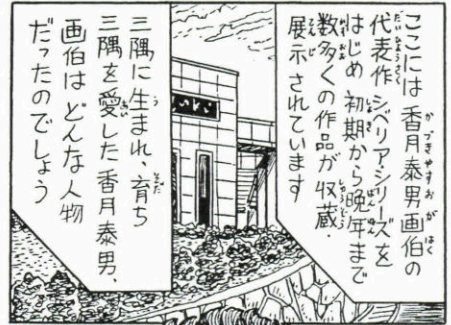
香月家は
代々医者
の家系で
した

父貞雄も
医者にな
るべく
産科医専
に学びま
したが
道楽に身
をもちく
ずし
泰男が
四歳の
とき
香月家
を出奔
(家を
出てゆく
ことが
しれない
こと)

ふるさと人物伝2
香月泰男1
中 建 次



平成5年10月に
開館した三隅町立
香月美術館



ここには香月泰男画伯の
代表作『シリアシ』が
はじめの初期から晩年まで
数多くの作品が収蔵
展示されています

三隅に生まれ、育ち
三隅を愛した香月泰男
画伯はどんな人物
だったのでしょうか



これから
画伯の人生を
ふりかえって
みましょう



泰男を育てたのは
祖母と父に代って
医業を継いだ
叔父でした

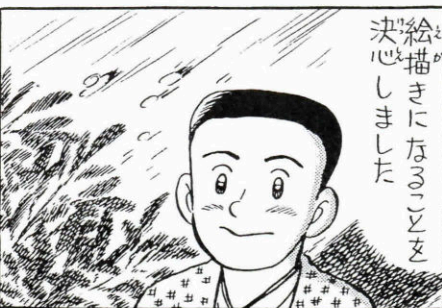
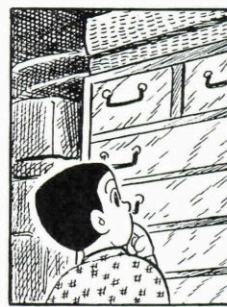
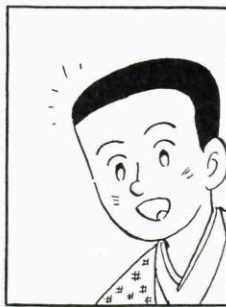
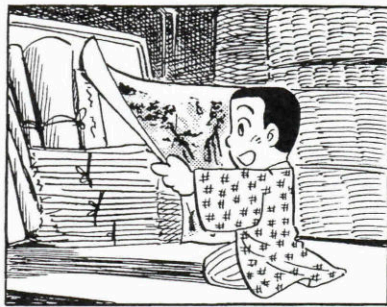


母・八千代は
どんな夫に
愛想をつかし
泰男がまだ
幼い時に
離別します



朝鮮に流れて行き
大正11年
その地で亡くなり
ました

香月家の親類の中に
雪舟の流れをくも
雲谷派の末流の画家が
いて、その素描がかなり
多く残されています



絵描きになることを
決心しました



そして小学校一年(か二年)
のとき庭のセシラン実が
太陽の光に
輝いている
のを見て



幼いとき
から
それら
目にして
いた泰男は
誰に教え
られるこ
なく自然
に
絵を描き
はじめ
たので
す